（３）②在職証明書（現職教諭対象選考の合格者のみ）

在　職　証　明　書

１　在職者氏名　　　　　　　　　　　　 生年月日 昭和・平成 年 月 日（ 歳）

２　在職期間S・H・R　 年　 月　 日 から S・H・R　 年　 月　 日まで

※①採用が複数回あるとき、若しくは雇用形態が複数あるときは、

裏面に在職期間と雇用形態等を記入してください。

※②在職期間内の休職の有・無及び休職の期間について「４休職期間」欄へ記載してください。

※③在職中の場合は、退職予定日を記入してください。

３　職名・職務内容等

該当する項目に○をしてください。記載内容が多い場合は、裏面に記載してください。

また、該当する項目がないときは、その他に○をして（　　）内に内容を記入して下さい。

|  |
| --- |
| ①雇用形態：企　　　業 ⇒ 正社員 契約 派遣 アルバイト その他（　　　　）  私立学校等 ⇒ 正職員 臨時的任用職員 非常勤 その他（　　　　）  官　公　庁 ⇒ 正職員 臨時的任用職員 非常勤 その他（　　　　）  （公立学校を含む）  ②職　　種：事 務 営 業 労 務 講 師 その他  配属先（学校名等）、担当職務内容（職名等）を詳しく記入してください。  配属先（学校名等）、担当職務内容（職名等）が多岐にわたる場合は、裏面に記入してください。  　※非常勤講師の場合は、1週間当たりの担当時間数を記入してください。（　　　　　時間）  ③給　　与： 月給 日給 時間給 その他（　　　　　　　）  ④社会保険： 適用　 非適用　 その他（　　　　　　　）  ⑤雇用保険： 適用　 非適用 その他（　　　　　　　） |

４　休職期間（本証明が、公務員歴の場合のみ、記入してください。）

|  |
| --- |
| 休職期間（有・無）〔いずれかへ○印を記入し、「有」の場合、その期間を記入してください。〕 |

５　児童生徒に対するわいせつ行為等による処分歴

|  |
| --- |
| （有・無）〔いずれかへ○印を記入し、「有」の場合、その事実及び概要を記入してください。〕 |

６　その他（特記事項があれば記入してください。）

|  |
| --- |
|  |

**注：証明者は、裏面に押印をお願いします。**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **年月日** | | **配属先** | **雇用形態** | **担当職務** | **給与** | **保険加入の**  **有 無** | |
| **自** |  |  |  |  |  | 社 |  |
| **至** |  | 雇 |  |
| **自** |  |  |  |  |  | 社 |  |
| **至** |  | 雇 |  |
| **自** |  |  |  |  |  | 社 |  |
| **至** |  | 雇 |  |
| **自** |  |  |  |  |  | 社 |  |
| **至** |  | 雇 |  |
| **自** |  |  |  |  |  | 社 |  |
| **至** |  | 雇 |  |
| **自** |  |  |  |  |  | 社 |  |
| **至** |  | 雇 |  |
| **自** |  |  |  |  |  | 社 |  |
| **至** |  | 雇 |  |
| **自** |  |  |  |  |  | 社 |  |
| **至** |  | 雇 |  |

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和　　年　　月　　日

所在地

事業所名

代表者職氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　印

別紙

【 「現職教諭対象の選考」合格者の方へ 】

以下に合格した校種・教科（科目）を記載し、在職証明書発行元へ在職証明書の様式（A4両面コピー）と併せて提出してください。

校種：　　　　　　　　　　　　教科（科目）：　　　　　　　　（　　　　　　）

【 在職証明書発行　ご担当者様 】

\*　令和8年3月31日までに通算2年以上の在職期間が確認できるよう記載ください。なお、上記の合格した校種等・教科（科目）の在職内容については、職種欄の内、「校種等・教科（科目）」の項目及び令和8

年3月31日までに通算１年（休職期間を除く。）以上当該校種等・教科（科目）の教育課程内の授業等を担当した実績が確認できるよう記載してください。

【参考】

令和8年度大阪府公立学校教員採用選考テスト受験案内P.16

**特別選考**

**３．【現職教諭対象の選考】　※　大阪府内の公立学校を除く**

**◇　資格要件**

次の①及び②を満たしていること。

①　令和７年４月１日現在、学校教育法上の国立学校、公立学校（大阪府内の学校を除く。）又は私立学校に正規任用の教諭＊１、養護教諭、栄養教諭又は任用の期限を付さない常勤講師\*２（いずれも、期間の定めのない雇用形態で、任期付き採用や臨時的任用の場合を除く。以下このページにおいて「教諭等」という。)として在職（休職中である場合を除く。）しており、令和８年３月31日までに下線部の学校で教諭等として通算２年（休職又は停職期間を除く。）以上の在職経験がある（見込みを含む。）こと。

＊１ 認定こども園等において、幼稚園としての教育課程内の授業等を担当した正規任用の教諭の勤務経験を含む。

＊２「任用の期限を付さない常勤講師」とは、日本国籍を有しない者が正規の教員として任用された場合をいい、同様の任用であれば職名は問いません。

②　令和８年３月31日現在、教諭等として出願する校種等・教科（科目）の教育課程内の授業等を１年以上担当した実績（時間数は問わない。休職又は停職期間を除く。）があること。

※留意事項

・　共通募集（『幼稚部・小学部共通』）においては、共通募集しているいずれかの校種等又は校種等・教科の実績があれば出願できます。

・　『小中いきいき連携』においては、『小学校』又は『中学校』で募集しているいずれかの教科の実績があれば出願できます（『小学部』及び『中学部』の実績を除く。）。

・　『中学校』、『中学部』、『高等学校』、『高等部』においては、それぞれ実績のある校種等のみに出願できます（例：『中学部』での勤務実績があり、『中学校』での勤務実績がない場合、『中学校』には出願できません。）。

・　出願時に資格要件に該当する在職歴を入力してください（資格要件に該当しない在職歴を入力しないでください。）。なお、在職歴に「休職又は停職期間」が含まれる場合は、出願時にその期間を入力してください（「休職又は停職期間」には、育児休業や産前産後に係る休暇など、休業・休暇・休日の期間は含みません。）。

・　在職歴・授業等担当実績は月換算です（在職歴は24か月以上、授業等担当実績は12か月以上必要です。）。月の区分は月の初日から末日までとし、１日以上勤務した月は１か月と計算します。ただし、退職した月と同じ月に就職した場合、その月は退職した勤務先の月数に数えてください。

参考

各項目については、下記を参考に記載してください。

雇用形態：官公庁、私立学校等…正職員、臨時的任用職員、非常勤　等

その他…正社員、契約社員、派遣　等

担当職務：教諭、講師、営業、事務　等

　　　　　※非常勤講師の場合は、1週間当たりの担当時間数を併せて記入してください。

給　　与：月給、日給　等

保　　険：社…社会保険

雇…雇用保険

※このページは提出時には印刷不要です。